

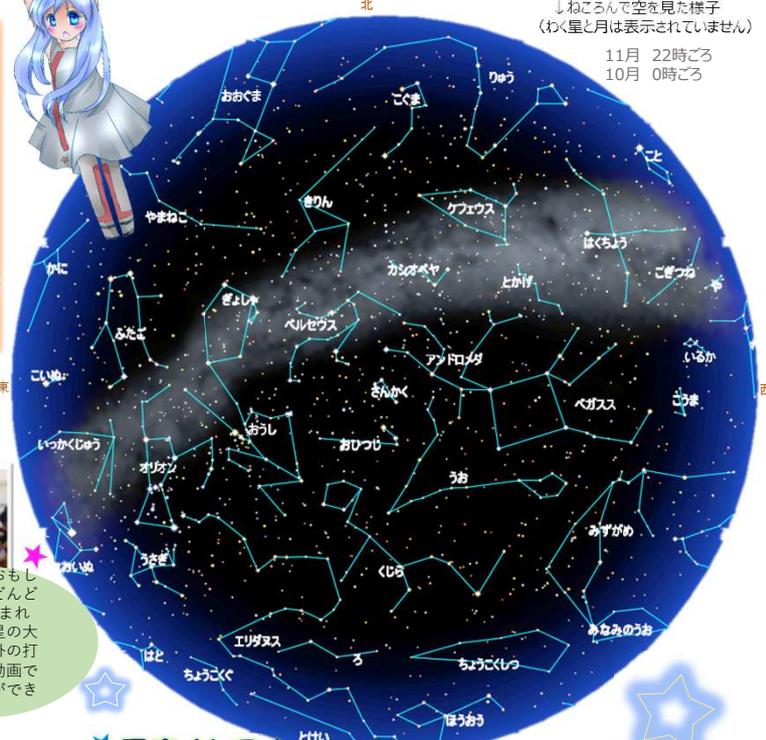
ほしぞら新聞



12月24日 20時の星の位置
↓
ねこらで空を見た様子
(わく星と月は表示されていません)

11月 22時ごろ

10月 0時ごろ



火星が地球にせつ近しました!

火星が5月31日に2年2か月ぶりに地球に近づきました。8月おわりに、南の夜空を見ると土星とアンタレスと火星が並び赤さ比べをしているようなすがたをみることができました。火星は今後も夜空で見ることができ、地球から遠ざかっているため少しずつ暗くみえるようになります。それでも1等級ほどあるので探しやすいですよ。ところで1月31日と2月1日にもし晴れたらおもしろい空になりそうですね。観察してみてください。
細いお月さまと、火星(1等級)そして金星(なんと-4.6等級)が並んでみえます。-4等級ってどんな明るさだろう?この日だけにかぎらず、火星と金星は観察できます。夜晴れたらぜひ空をみてください。

次のせつ近は今回よりも地球にもっと近づきます。大せつ近といわれる日は2018年7月31日です。2年後が楽しみですね☆



学校へ望遠鏡持っておじゃましまーす!

ホンモノ体験してみよう★

太陽の黒点やプロミネンスを観察しました



- ★太陽望遠鏡で黒点やプロミネンスの観察
- ★月のクレーター観察
- ★上弦・下弦の月の満ち欠け
- ★星の並びや星の動き
- ★星の色・星の大きさ
- ★星座早見図や惑星模型などの工作
- ★夜間の天体観察など ご要望にお応えしています。

お話しもおもしろいよ。どんなひきこまれちゃう。星の大きさやソフトの打ち上げも動画でみることもできます。



月の表面の様子を観察したあとは模型でたしかめてみよう。



はくちょう座

犬神ゼウスがはくちょうのすがたになって美しいハルピュラ王冠のちもとにとんていっという話もある「はくちょう座」。この座の一等星はデネブという名前がついています。



夏の大きなこのデネブ、七色の織女星のこの座ベガ、彦星のしし座アルタイルでできる大きな三角形で星座をさがす手がかりになります。天の川にそってしし座が飛んでいるので天の川を探す時は目じるしにしてみてください。

星空さんぽ

空は秋の星座と冬の星座がみえています。西には夏の星座がすまかており、はくちょう座のすがたは十字が立つようになっています。このすがたが「北十字」とよばれるゆえんです。クリスマスころ、西の空に見える十字がさがしてみてください。

秋のゆいゆいの一等星は「みなみのうお座」のフォーマルハルトです。南から西の方角の少し低いところにぼんつと明るくかかっています。このあたりは目立つ星が少ないうえに感じず。見つけたらその星の上にかけてみずがめ座が位置しています。暗い星が多く線をつなぐのは大変かもしれませんが、月明かりが上におちついてみるのもよいですよ。

目を東方向にうつすと冬のぎやかな星座たちがすがたをあらわしてきています。冬の星座には一等星が7つもあるのにぎやかな感じがするのと空気がすんできらきらと星がきれいにみえるのはなやかくです。日本から見える星座の中で、ひとつの星座に2つの一等星を持つものがあります。それがオリオン座。体が大きな勇者です。こんぼうをふりあげたきよのすがたがみえます?オリオンの三ツ星を上側になぞるとオレンジ色の明るい星があります。それがおしし座の一等星アルデバラン。そのままのぼとぼとやったりした星の集まりがあります。これがすばる。美しい7人姉妹のすがたとされています。

冬の星座はわかりやすいものが多いので、はじめてさがしてみようと思う人はぜひ寒くないかっこうをして、大人のひとといっしょにさがしてみてください。夏や秋の間は、秋の四辺形というベガス座をつつける練習をしてみよう。この四辺形は秋の星座をつつける手がかりになる目印です。秋の星座たちの神話は大きな物語になっています。本などでぜひ物語をしらべて、そして星空をみあげてみましょう。きっと主人公たちのすがたがみえてくるかもしれません。星座にはいろいろな物語があります。ひとつだけではないつものお話しを持っているもの。自分のたん生星座の物語をしらべてみるのもおもしろいと思います。読書の秋、ぜひ星座神話などいかがですか?

上げん月

お昼ごろにのぼって夕方空高くかかや半月
観察によい日
9月9日・10月9日・11月9日・12月7日
1月6日・2月4日・3月5日



まん月

太陽がしずむと、すぐに出て一晩中明るくかかや丸い月
観察によい日
9月17日・10月16日・11月14日・12月14日
1月12日・2月11日・3月12日



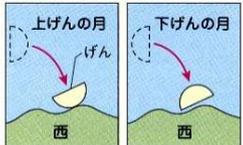
下げん月

真夜中にのぼって明け方に空高くはるかにしずむ半月
観察によい日
9月23日・10月23日・11月21日・12月21日
1月20日・2月19日・3月21日



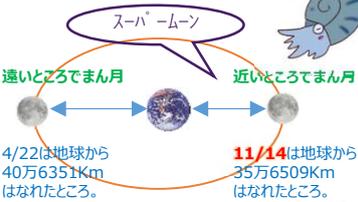
上げん月の月・下げん月の月

半月をみてみてください。おおくの人が右がわがまるっぽい月をかくと思います。このお月さまのカタチは「上げん月」これから丸くなってまん月にむかう月です。西の空にしずむ時は左がわの絵のようにげんを上にして見ます。下げん月はこの絵から新月にむかう月。しずむ時はげんを下にします。



小さなまん月 大きなまん月

4月22日のまん月は今年見られるまん月のなかで一番小さくみえます。観察してみましたか?月は地球のまわりを円がぶつような形「だえん形」でまわっています。それは地球に近いところと遠いところがあるということになります。この地球に近いところと遠いところと比べると、ぎやくに近いところと遠いところと比べると大きく見えます。だくだくい場所には月はうかんていのでなかなか気づかないものなんです。今年、大きなまん月は11月14日に見られます。近いところの中でもさらに地球に近いところと遠いところと比べるとそれがこれからはなんと68年ぶりのことだから、わわわしますね。4月22日とこのようにちがうか、わかるようにしてね。ぜひ観察してみてください。



4/22は地球から40万6351Kmはなれたところ。

11/14は地球から35万6509Kmはなれたところ。

お月様をみよう

「中秋の名月」という言葉を聞いたことがありますか?古よりの日、だんごやすすきをかき、お月見をするならわががあります。毎年ひながちが、ちがいますか?決まることがあります。

旧暦(きゅうれき)という昔のよみの8月15日が「中秋の名月」で、別の名前を「十五夜(じゅうごや)」ともいいます。お月見にはもうひとつ、「後(のち)の名月」というものがあります。旧暦9月13日の月のことで、「十三夜(じゅうさんや)」ともいってこの「後の名月」は日本独自のお月見で、中秋の名月とセットでみることもありますが、このほかにも、田畑を守ってきた「かかし」のための「十日夜(とつかんや)」というお月見もあります。

- 2016年
- ★中秋の名月 9月15日
- ★後の名月 10月13日
- ★十日夜 11月9日

お月見だんごの数は1年の月の数(12か月なので12こ)さいもやえだまめ、くりなどの時期にしゅうかくされたものをそなえることもあるよ。むかしは、食べるものがなかったで、子どもたちがとって食べてもいよいよだんごを小さく丸めてかざっていたんだそう。今もそのなごとして「いげげさん」「おつきみどりぼろ」などの行事もあるそうです。あなたの住んでいるところには、お月さまとかわりの行事などがありますか?



お月さまからみて左側に自然のもの、右側に作ったものをそなえる

海星館 イベント情報

- 天体の名づく鉄道模型(Nゲージ)展
10月よりはじまります
- 9月11日 13時~中秋の名月講座
 - 9月16日 18時半~月にまつお話し
 - 10月8日 13時~開崎の自然を楽しもう
 - 10月21日 18時半~19時半 オリオン座流星群観察講座
 - 10月22日 18時半~19時半 オリオン座流星群観察講座
 - 10月23日 13時~14時 開崎の自然を楽しもう
 - 18時半~19時半 動く星かない星講座
 - 11月5日 18時半~19時半 おうしし座流星群観察講座
 - 11月12日 18時半~19時半 おうしし座流星群観察講座
 - 12月10日 18時半~19時半 ふたご座流星群観察講座
 - 12月17日 18時半~19時半 こまへん座流星群観察講座
 - 12月18日 18時半~19時半 星は「すばる」講座
 - 1月14日 18時半~19時半 金星観察講座
 - 2月5日 13時~14時 太陽の秘密
 - 3月20日 18時半~19時半 春分の日のお話しと二十四節気

大分市生涯学習施設 関崎海星館

質問や感想、イラストなど、お待ちしております。学校へ出張教室も行っています。

879-2201 大分市大字佐賀関4057-419 TEL 097-574-0100

★多太陽の観察 10時~16時30分
★多夜の天体観察 19時~22時
火曜休館 (夜間開館は金土日祝)
身近な星「太陽」にはふしぎがいっぱい。昼間の天体観察もおススメです!

★海星館には宇宙へ行ったための子孫が飼育されています★
小学校で宇宙めだかの飼育をしてみませんか?春に生まれためだかのあかちゃんをお見します。教育の現場で活躍してくれます。ぜひご検討ください。